

大講座基幹研究プロジェクトテーマ

歯科大学における健康長寿に向けた口腔管理アプローチシステムの樹立

目的:生活習慣病およびオーラルフレイルを予防し、健康長寿高齢者を育成すること

ライフステージ

- IV 高齢期 (65才～)
- III 壮年期 (41～64才)
- II 青年期 (19～40才)
- I 若年期 (~18才)



一体化研究
↓
診療・教育への
フィードバック

H29

口腔病態、機能が生活食習慣および生活習慣病に及ぼす影響の調査
プロジェクト1 (ステージIII, IV)

歯周病、う蝕等と生活習慣病およびオーラルフレイル患者における食栄養バランスと口腔・全身の病態との関連性の調査
プロジェクト 1, 5, 6 (ステージIII, IV)

口腔:歯肉微小循環障害(歯周病)と全身:生活習慣病性血管障害(心血管病変)との関連メカニズムの調査
プロジェクト1, 2(ステージIII, IV)

H30～

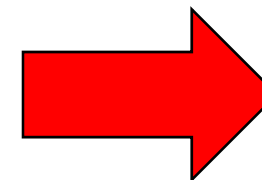
ライフコース(小児から高齢者)における口腔機能の発育や改善と食栄養改善や認知機能予防との関連性の解明
プロジェクト3, 4(ステージI-IV)

ライフコース(小児から高齢者)における適切な食栄養摂取の重要性、サプリメントの必要性、アレルギー疾患への影響の解明
プロジェクト4, 8(ステージI-IV)

歯周病、生活習慣病合併患者に対する食栄養指導支援およびサプリメントの必要性と推奨診断基準の解明
プロジェクト 1, 2, 7 (ステージIII, IV)
口腔科学講座ユニット1, 2, 4, 6

外部評価

中村丁次先生
神奈川県立
保健福祉大学
学長
(管理栄養士)



評価指標

疾病負荷指標

患者側
自己効力感評価(短期)
口腔・全身QOL(短期)

実施者側
特定健診受診率(長期)
生活習慣スコア(中期)
血管年齢評価(長期)
口腔年齢評価(中期)

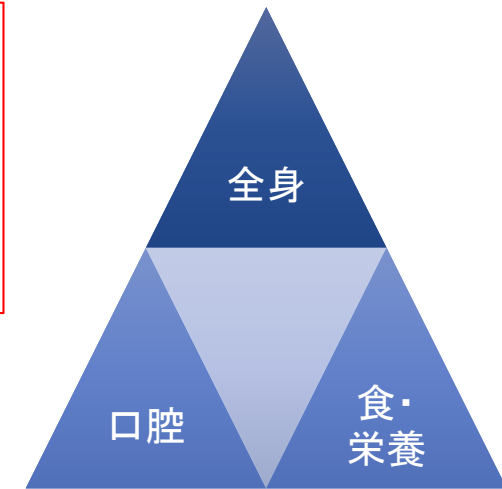
期待される成果

- 歯科大学発の食栄養支援アプローチシステムを生活習慣病および老年症候群の「未病」対策として確立、定着させることに貢献
- 神奈川歯科大学、同短期大学看護学科、歯科衛生学科、横浜市立大学医学部、ならびに県立保健福祉大学栄養学科との臨床、研究、教育での連携強化に貢献
- 超高齢社会における「健康寿命延伸、健康格差是正のための未病推進対策」を掲げる神奈川県ヘルスプロモーション事業、未病センターとの連携に貢献

将来的には(5年を目途に)

歯学部口腔栄養学分野の新設、県立保健福祉大学との大学院研究連携、付属病院歯科医科連携センターを医療センターへ進化させ健康サービスや教育プログラムの企画、サプリメントの開発など健康イノベーション事業に貢献

還元



ステークホルダー:フレイルや認知症など健康寿命延伸を阻害する老年症候群患者および生活習慣病を保有する疾患リスクの高い患者とその予備群

(千葉県糖尿病患者の会会員、ほか)

標語:

“皆で健康長寿を目指す神奈川歯科大学発ヘルスプロモーションプロジェクト!”

PDCAサイクル

P:計画

プロジェクトリーダー・
講座長・分野長による検討、
および評価委員会での審議

D:実行

プロジェクト各担当者
フィールドは、歯科医科連携
センターを中心に

C:評価

・毎月の研究報告会
・プロジェクト報告会
(外部評価者、ステークホルダー)
・ブランディング研究大学院委員会
・自己点検評価・事業成果報告書
(計画性、実現性、達成度、独創性、
貢献度、発展性について5段階評価)

A:改善策

報告書を元に改善策を立案